

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度 第4回 所沢市環境審議会
開 催 日 時	平成29年3月31日(金) 10:00~11:00
開 催 場 所	市庁舎 高層棟6階 602会議室
出席者の氏名	田中充、毛利吉成、天野正博、 北田律子、足立圭子、松山謙一、
欠席者の氏名	秋元智子、上田マリノ、永島裕久
説明者の職・氏名	
議 題	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 事 (1) 最終答申について (2) その他 4 閉 会
会 議 資 料	・ 次第 ・ 資料1 最終答申 ・ 資料2 最終答申案に対するご意見 ・ 参考 環境配慮行動に対する主な支援策について
担 当 部 課 名	環境クリーン部 次 長 大澤 稔 まちごとエコタウン企画担当参事 小高 大輔 環境政策課 課 長 大館 真哉 主 幹 安藤 善雄 主 査 矢沢 信男 主 事 溝越 弘倫 環境クリーン部環境政策課 電話 04-2998-9133

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
安藤主幹	開会・あいさつ
会長	<あいさつ>
安藤主幹	出席者が全委員の過半数に達しているため、審議会規定により会議の成立を確認。 傍聴者はなし。
事務局	<資料1及び資料2に基づいて最終答申書について報告>
会長	ごみの有料化に関して、インセンティブをつけてごみの分別や減量化を図るのは重要なこと。 庁内の機運はどうか。
大澤次長	まずは減量化などに取り組むことが先決だが、次のステップとして有料化も考えなくてはならないのではないかと意見もある。
副会長	ごみの減量や3Rの推進には、市民に対し、ある程度強制力のある施策も必要である。
委員	<p>スーパーのレジ袋の有料化とごみの有料化を連携させるのがこれまでの施策。有料化の狙いとしては、ごみを多く出す人と出さない人など、環境配慮行動に取り組む人と取り組まない人の不公平感の解消というのが一つある。</p> <p>委員のご意見にもあるように、ごみ袋の有料化については税金の二重取りのイメージが強いため、市民をどう納得させるかが重要。</p> <p>環境省においても、「カーボンプライシング（炭素の排出量の価格付け）」の制度化に向けて研究しており、課題となっているのは、炭素の排出量の公平性をしっかりしなければいけないという点で、排出量に対し価格を明示することを議論している。</p> <p>環境配慮行動など努力をした人に効果を示せるよう、公平感をいかに出すかを検討することで、市民を納得させることができれば良い。</p> <p>また、行政区画を越えたところで、「有料」と「無料」の差もあるので、近隣の自治体など周辺との連携も必要。</p>

大館課長	「ごみの有料化」については、当審議会ではなく、ごみの減量に特化した会議を設けているので、そちらで議論している。
委員	「ペットボトルキャップと花の苗の交換」は民間で車いす等への交換をすでに行っている。
委員	他に活かされているのであれば、あえて行う必要はないと思う。
委員	花の苗に限らず、環境への意識につなげていくための一種の啓発としてであれば良いのではないか。
委員	優先順位をつけるのであれば、車いすなど人のためになるようなものの交換を優先すべきだと思う。
副会長	分別したものが、どのようなものにつながっているのかといったことを、行政が積極的に啓発していかなければいけない。
委員	所沢市はリサイクルに関して、輸出に回ってしまうなどの問題はないのか。
大澤次長	分別がされていればそれぞれの場所でリサイクルできる。
会 長	<p>「ペットボトルキャップと花の苗の交換」に関する議論を整理すると、一つはこのまま残すといった選択肢、あるいは表現を修正し、趣旨を残すといった選択肢も考えられる。また、すでに実施されているということであれば、削除するといったことも考えられる。</p> <p>ご意見をいただいたところなので、表現は修正するが、地域環境・社会福祉の向上のための交換の仕組みを構築するといった趣旨のものを記載することで事務局と調整したい。</p> <p>また、今後の流れとしては、これを元に市長への答申を行う予定である。</p>
委員	10 ページの No. 11 の「効果」に LED との比較がないので、追記すべき。
事務局	<最終答申の受け渡しの日程等の案内、本日の施設見学会のスケジュールについて説明>

安藤主幹	<まとめ>
大澤次長	<あいさつ>
	閉会